

3月3日



岡山コミュニティエリア内に 新たな「岡山こどもの家」が完成

岡山コミュニティエリア内に放課後児童クラブ専用施設として新たな「岡山こどもの家」が完成しました。

岡山小学校区では、住宅地の開発により小学校に通う児童数が増加しており、既設のこどもの家で1クラブ、旧岡山小学校の仮設校舎で2クラブ、あわせて3クラブで運営されていました。仮設校舎の2クラブが今回完成した新たなこどもの家で活動され、仲間と一緒に遊びや生活の場として過ごしていくことになります。

3月10日



新たに2人が地域おこし協力隊として 地域の振興・活性化に取り組む

市は地域おこし協力隊として新たに2人の若者を委嘱し、小西理市長から委嘱状が手渡されました。沖島の活性化をめざす川瀬明日望さん(左)は、沖島に居住し、島内の関係者と連携を図り地域資源の活用などに取り組まれます。生涯活躍のまちづくりによる新たなひとの流れ・産業の創出をめざす「安寧のまちづくり」プロジェクトに取り組む谷口晟士さん(右)は、多賀町の生業・交流のいえ(旧吉田邸)を拠点に市内全域で活動されます。市長は「仲間のネットワークが重要なのでまずはそこから取り組み、それが形になっていくように頑張ってもらいたい」と激励しました。

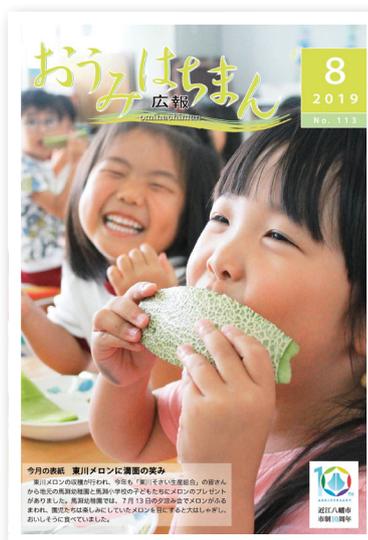


誇りを胸に27人巣立つ 市立看護専門学校で最後の卒業式

市立看護専門学校第29期生の卒業式が行われ、教職員、保護者などが卒業生の巣立ちを祝うとともに、学校の閉校を惜しみました。同校は昭和49年に2年制の市立高等看護学院を前身として平成元年に3年制の専門学校として開校、これまで974人の看護師を養成してきました。しかし、学校施設の老朽化や志願者の大学志向などから平成28年に廃校を決定し、平成29年度の学生が最後の入学となりました。中村高秋校長が卒業生1人ひとりに卒業証書を手渡し、「卒業生としての誇りと自信をもって、それぞれの職場で大いに健闘されることを願っています」とはなむけの言葉を贈りました。続けて閉校式が行われ、中村校長から小西市長へ学校旗が返還され、31年の歴史に幕を下ろしました。



県広報コンクールで 2年連続知事賞を受賞!



令和元年度滋賀県広報コンクールで、広報おうみはちまん8月号の表紙写真が、広報写真の部で知事賞を受賞しました。昨年度にも同部門で受賞し2年連続の受賞となります。審査では「いかにもおいしそうで、うれしそうであることが伝わる」「可愛らしい子どもの表情をアップにしており目を引く表紙である」と評価されました。

これからも、皆さんに愛され親しまれる広報紙をめざして努力してまいりますので、ご支援をよろしくお願いいたします。



ちびっこしいたけ栽培体験活動

体験活動を通して子どもたちの育成に少しでも役立つため、ちびっこしいたけ栽培体験活動が2月22日、豊かな杜づくり隊の協力のもと老蘇コミュニティセンターで開催されました。しいたけの原木は、観音寺城址整備事業の間伐材として切り出した「コナラ」を天日干したものです。

1本の原木に電気ドリルで1センチ程度の穴を30カ所ほどをあけ、しいたけ菌をその穴へ木づちで植え付けました。ふだん家庭でドリルや木づちを使うことがない子どもたちには、良い自然体験活動でした。小学3年生の女の子は「ドリルの穴あけが難しかった。菌の植え付けは木づちでたたくのが楽しかった」と声を弾ませていました。原木を家に持ち帰り、約3年後に大きなしいたけができるのを楽しみに待ちます。



近江八幡市公式
Instagram



「#走れ赤こんくん」に投稿を

市内で撮ったとっておきの写真に、ハッシュタグ「#走れ赤こんくん」を付けてつながりましょう！投稿いただいた写真は広報紙面などで紹介させていただきます。



@michiyo01130312さんの作品



患者さんに寄り添い55年

円形のガラス窓がモダンな折田医院。55年間、地域医療を支えた折田雄一医師(85歳)は、3月31日をもって医院を閉院しました。

若い医師の皆さんにメッセージをいただきました。「『傾聴を』とよくいいますが、患者さんの顔を見て、話に反応してほしい。聴くだけでなく会話をふくらませてほしい」。また、「問診は大事です。雑談から病を推測し、検査につながることもあるんです」と。

40年近く通う患者さんも多い折田医院。支えたスタッフも長年ともにした仲間です。

「これからも、ホッと笑顔になれる町の医療を見守りたい」と話されていました。



文化的景観で湖と暮らしをつなぐフォーラム

「文化的景観で湖と暮らしをつなぐフォーラム～内湖の過去・現在・未来～」が市文化資産活用実行委員会主催で安土コミュニティセンターにて開催され約40人が参加しました。

基調講演では滋賀県立大学環境科学部 井手慎司教授より干拓前の小中の湖の姿や、同内湖周辺における当時の人々の暮らしぶりについて講義され、第2部では重要文化的景観について大阪大学大学院工学研究科 松本邦章研究室などから活動報告がされました。また、第3部のパネルディスカッションでは参加者からの質問をもとに意見交換が行われました。